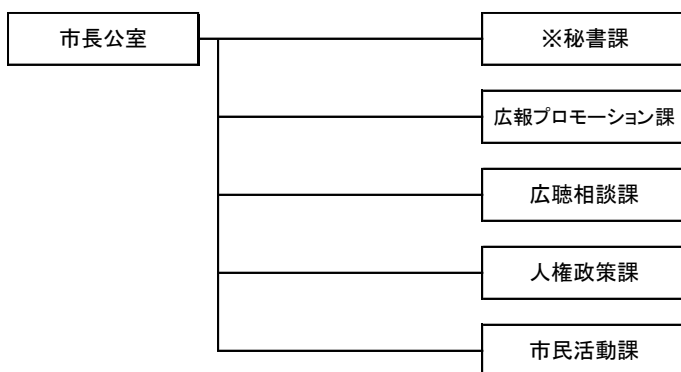


市長公室 所管事務の概要



秘書課

- (1) 市長及び副市長の秘書に関すること。
- (2) 市長及び副市長の指示事項の連絡調整に関すること。
- (3) 市長会等に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。

広報プロモーション課

- (1) 広報活動に関すること。
- (2) 報道機関との連絡に関すること。
- (3) シティプロモーションの推進に係る企画、立案及び調整に関すること。
- (4) ふるさと納税に関すること。

広聴相談課

- (1) 行政相談、法律相談その他の市民相談に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (2) 広聴活動に関すること。
- (3) 行政相談委員に関すること。

人権政策課

- (1) 人権・同和施策に係る総合調整に関すること。
- (2) 非核平和事業に関すること。
- (3) いじめ防止対策の推進に関すること。
- (4) いじめを受けた児童等の相談、支援等に関すること。
- (5) 人権擁護委員に関すること。
- (6) 男女共同参画施策の企画及び調整に関すること。
- (7) 人権尊重のまちづくり審議会、男女共同参画推進審議会及びいじめ問題再調査委員会に関すること。

市民活動課

- (1) 住民自治の振興に関すること。
- (2) 市民間の共助意識の啓発に関すること。
- (3) 市民活動の支援及び地域住民団体の活動の支援の総括に関すること。
- (4) 市民憲章に関すること。
- (5) 特定非営利活動法人の設立の認証等に関すること。
- (6) サプリ村野NP0センターに関すること。
- (7) 市民参加及び市民との協働の推進に係る調査研究、企画、立案及び調整に関すること。
- (8) NP0 活動応援基金支援審査会に関すること。

令和7年度主要施策の成果と課題

【広報プロモーション課】

1. 全庁的な情報発信力強化・効果的な広報の実践について

令和6年度に策定した市の情報発信の基本的な考え方となる情報発信ガイドラインを活用し、全庁的な情報発信力の強化と「意識の醸成」を図るため、職員向けの情報発信・SNS活用研修を実施するとともに、市のまちづくりの柱である「子育て・教育」に関する市の取組や施策、まちの魅力について、組織横断的な体制のもと強力にアピールするため、「だから、枚方」をキャッチコピーに、広報ひらかたの関連特集企画や市民に直接アプローチする「だから調査隊」の連載をはじめ、市ホームページ、SNS、デジタルサイネージ、ポスター掲示など多様な媒体を活用して発信した。また、9月の水都くらわんか花火大会に合わせた京阪電車の中張り広告の掲示や、庁内外の連携によるイベント企画、情報誌「のぞき見、枚方」の発行、地域情報誌「まみたん」への記事掲載、シティプロモーションサイトと連動したInstagram広告、地域ミニコミ紙「読売ファミリー」への企画広告掲載など、さまざまな手段を用いてPR施策を継続的に展開した。

2. シティプロモーションの推進について

市のキャラクター「ひこぼしくん」を活用した取組では、市内各地で開催された七夕関連イベントへ参加し、動画を制作・配信することで、市の魅力を広くPRした。また、民間事業者と連携し、「ひこぼしくん」のオーダーズーツを制作し、イベントへの参加や動画を配信するなど、協働による話題性のあるPRに取り組んだ。

広報紙と連動した取組として、市教育現場でのPBL（課題解決型学習）を取材した動画を制作・発信し、子どもの学びや学校現場の魅力発信に取り組んだ。また、文化財課と連携した市長が市内の文化財を巡る企画動画を制作し、市の歴史や文化財の魅力を分かりやすく発信することで、市民の郷土愛の醸成や市外への魅力発信につなげた。

「だから、枚方」をキャッチコピーとした取組では、市民参加型の「みんなでつくろう！フォトムービープロジェクト」を実施した。市内で撮影された写真を募集し、応募写真をもとに市公式フォトムービーを制作し、市民やPR大使とともに枚方の魅力を発信した。

このほか、市内イベントや学校での市テーマソング「この街が好き」の合唱の様子を取材・動画発信するなどの音楽を活用したシティプロモーションを行った。また、市PR大使の大阪ブルテオンによる中学生対象のバレーボール教室を取材・動画発信することで、スポーツを通じた市の魅力発信を行うなど、市内外への情報発信を行った。また、市ホームページのシティプロモーションサイトでは、季節ごとの更新や「枚方の音」などのコンテンツを追加するなど、市民やPR大使、民間事業者など多様な主体と連携しながら、市内外へ向けた魅力発信に取り組んだ。

3. 広報紙面の充実について

大阪・関西万博が開催された年であったことから、市独自の事業である「ひらかた万博」に関連する最新情報を継続して取り上げ、10月号では「ひらかた万博」の取組をまとめた特集を掲載したほか、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が実施した「みんなで選ぶ！TEAM EXPO」において、「みんなで選ぶ共創パートナー賞」を自治体として唯一受賞したことなどをタイムリーに発信した。令和8年1月号では、万博のプロデューサーを務めたコシノジュンコさんと市長との対談で同万博の振り返りと、枚方の未来について考える新春特集を掲載した。このほか、市民の関心が高まっていた市の水道インフラの現状や、枚方宿の歴史や子育て・教育に関連した特集など幅広い分野にわたり特集し、読者が読み物としても楽しめるよう魅力ある紙面づくりに取り組んだ。また、市として強力に情報発信を展開する「子育て・教育」に関する紙面企画「だから、枚方」を継続して掲載した。さらに、広報紙の情報を多くの人に広く伝えるため、10か国語に対応する多言語アプリによる配信も継続した。

4. ふるさと寄附金の推進について

財源確保策として実施しているふるさと寄附金では、専用ポータルサイト「ふるさとチョイス」や「さとふる」、「楽天ふるさと納税」、「ふるなび」、「Amazon ふるさと納税」を活用して広く寄附を集めるとともに、寄附金の募集や返礼品の提供に関して「ふるさと納税に係る指定制度」に基づく適切な運用を行った。

令和7年度においては、引き続きプロモーション業務委託事業者を公募し、インターネット広告等を活用したPRを実施した。昨年度よりも早い時期からPR業務をスタートさせたことにより、専用ポータルサイトのポイント付与が終了することにより訪れた9月のピーク時期を逃すことなく対応した。また、返礼品協力事業者の新規登録を16社増やし、「水都くらわんか花火大会」の観覧チケットをはじめ、明治・ミツカンといったナショナルブランドの商品やAmazon限定返礼品など多彩な品目を追加した。こうした取組を行ったが、本市人気返礼品への寄附が大きく減少したことなどから寄附金額は令和7年度と比較して約147万円減少した。また、新たな取組として自治体がプロジェクトオーナーとなり、広く資金を調達する「ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング」を実施し、2件のプロジェクトに対しては約250万円の寄附を受けた。

5. 企業版ふるさと寄附金の推進について

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取組を推進するための財源確保策として令和4年度から「枚方市まち・ひと・しごと創生基金」を設置し、企業版ふるさと寄附金による支援を求める取組を進めている。

寄附募集については、企業により効率的・効果的な働きかけを行うため、重点的に寄附を募る事業を抽出し、積極的

な企業訪問に努めるとともに、寄附マッチング事業者に対して業務委託を行った。また、物納寄附の増加に伴い、本市が必要とする物品の一覧を作成し、寄附マッチング事業者に共有を行い、寄附受入拡大に向けた取組を行うとともに、ダイレクトメールおよび電話での働きかけを行い、寄附企業の新規開拓につなげた。こうした取組により寄附金額は令和6年度と比較して約2,300万円増加した。

【広聴相談課】

1. 市民相談について

相談担当職員による「生活相談」では、相続に関する相談が1,465件、以下離婚468件、家庭問題439件、近隣問題402件、登記338件で、この5つの相談が全体の51.1%を占めている。

専門相談員による「専門相談」のうち、法律相談が983件で74.0%を占めている。法律相談以外の相談が346件で、登記相談123件、交通事故相談93件、遺言書・内容証明作成相談57件、成年後見相談51件であった。

2. 市民の声事業について

市民からの意見や要望等を受け付ける「市長への提言」については、関係部署や関係機関に速やかに連絡し、回答等の調整を行っている。

「市長への提言」として対応した件数は32件で、提言の趣旨とそれに対する市の考え方を要約し、個人が特定できないよう処理を行ったうえで、市ホームページ等で公表を行った。また人事課と連携し、職員研修の具体事例として情報提供を行い、提言回答の質の向上を図った。この他、收受時に迅速な対応が求められるもの等について、意見のトリアージを実施し、「問い合わせ」として対応した件数は316件であった。

スマートフォンで地域の危険箇所等を現場写真や位置情報付きで市に通報する「災害等通報システム」については、433件の通報を受けて、対応状況をホームページで公開している。

3. 各種アンケート及びパブリックコメント制度について

市ホームページを活用した市民意見の聴取手法として、インターネットアンケートを3回実施し、延べ7件の意見を聴取したほか、市政モニターによるアンケートを実施し、平均78.1%の回答を得た。また、スマホアンケートを月1回実施し、1回の回答につきひらかたポイント10ポイントを付与した。令和7年度も市公式LINEアカウントによる配信を継続し、20,074件の回答を得た。

市の政策形成過程における透明性及び公正性の向上を図ることを目的とした、パブリックコメント制度による意見募集については、5回実施して延べ113件の意見を聴取した。

4. コールセンターの運用について

市民からのお問い合わせに際し、よくある質問にはオペレータが回答し、意見・要望を集約する「総合コールセンター」の管理・運用について、応答率95%以上、ワンストップ回答率45%以上という数値目標を設定しており、応答率は年間平均で98.4%、ワンストップ回答率は43.6%であった。6月の繁忙期ではワンストップ回答率50.4%を記録し、担当部署の負担低減に貢献した。

【人権政策課】

1. 人権啓発事業について

人権啓発事業については、平成18年度から特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会へ委託を行い、講座等の開催を通じて、人権について考える機会を市民に提供している。

講座「生きること」では、様々な分野で活躍する方を講師に招いて連続講座（4回）を開催した。講座終了後には、講座内容を記録した冊子を作成し、講座内容を幅広く周知することにより、市民の人権意識の高揚を図るほか、人権文化セミナー（講演会）、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業（パネル展）などを実施した。

なお、啓発事業を実施する際は、合理的配慮や参加しやすい環境を整える観点から、申込状況に応じて要約筆記・手話・保育・補聴システム・点訳資料・字幕を用意している。

2. 人権尊重のまちづくりに向けた取組について

人権問題が多様化・複雑化していることや、より一層の人権意識の向上が求められる中、令和6年3月に一部改正した「枚方市人権尊重のまちづくり条例」を踏まえ、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢を示すとともに、「枚方市人権尊重のまちづくり計画（計画期間：令和4年度～令和13年度）」により、人権尊重の視点をあらゆる施策に生かしていけるよう、全庁的な人権施策の推進を図っている。合わせて、市職員が人権についての正しい理解と認識を深め、さらなる人権意識の高揚を図ることを目的として、様々な人権問題に関する研修に取り組んだ。

3. 非核平和事業について

憲法のつどい、枚方市平和の日記念事業（平和フォーラム、平和の燈火等）、平和資料室特別展及び市内の戦争遺跡バスツアーなどの事業を実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代の子どもたちに伝えとともに、市民に平和等につい

て考える機会を提供した。これら事業実施の際に、平和の願いを込めた折り鶴を作成できる「折り鶴コーナー」を会場に設けた。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次代に伝え、平和のために自分たちに何ができるかを考えてもらうきっかけを作るため作成した平和啓発冊子「平和のために私たちができること」をイベント等で配布した。

令和7年は終戦80年の節目にあたることから、「終戦80年平和事業」として、池上彰さん（ジャーナリスト）による講演や小中学生との意見交換会、映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」の上映会、ミニパネル展「核兵器と戦争に関する16の問い展」の展示、平和について考える「平和メッセージ」の募集などさまざまな手法で、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えた。

4. 平和資料室について

次世代に広く平和の大切さを伝えるため、平成18年度から、中央図書館1階の平和資料室において、禁野火薬庫の爆発に関する写真パネル、及び市民などから寄贈を受けた戦争資料等の常設展示を行っている。平和資料室では夏季平和事業として、毎回テーマを設定してパネルやポスター等を掲示する特別展（2週間程度）に取り組んでおり、令和7年度は終戦80年平和事業の一環として、戦時下の動物園における動物たちの悲劇等を紹介し、平和の大切さについて考えてもらうため、「どうぶつのいのちとへいわ」と題したパネル展を開催し、あわせてアニメ「どうぶつたちのねがい 戦争中の天王寺動物園」の上映を行った。

5. 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会について

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、今日的な人権課題に適切に対応できる体制と「人権啓発」、「人権相談」、「自立支援」に関する施策を進めるため、行政、企業、団体、市民の参画により設立された。平成18年3月に特定非営利活動法人格を取得し、同年4月から本格稼働した。

本市の人権ケースワーク事業、男女共生フロア相談事業、地域就労支援事業、進路選択支援事業、人権啓発事業を委託するなど連携、協力し、人権施策の推進を図った。

6. 男女共同参画推進事業について

すべての市民が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、「第3次枚方市男女共同参画計画」（計画期間：平成28年度～令和7年度）に基づき、男女共同参画啓発事業及びDV防止啓発事業を実施した。同計画が令和7年度に終期を迎えることから、令和7年4月に施行された困難な問題を抱える女性への支援に関する法律に規定する市町村計画も新たに盛りこんだ「第4次枚方市男女共同参画計画～ジェンダー平等の実現に向けて～」(計画期間：令和8年度～令和17年度)を策定した。

身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ、女性の負担軽減につながる取組として、市施設のトイレへの生理用品無償配置を引き続き実施したほか、女性を対象とした起業セミナーや親子で学ぶ性教育、ワークライフバランスに関する講座や子育て中の父親を対象とした心理学講座など、ジェンダーを背景とした様々な課題をテーマとした啓発講座を実施した。また、男女共生フロア・ウィルにてミニフェスタを開催し、登録団体の展示会、体験会を実施した。

相談事業については、引き続き、女性のための相談（電話・面接・法律）、男性のための電話相談を実施し、主に性別を理由とした悩みや困りごとの相談に対応した。

7. 性的マイノリティ支援事業について

平成31年3月にLGBT（レズビアン：女性の同性愛者、ゲイ：男性の同性愛者、バイセクシュアル：両性愛者、トランスジェンダー：体の性と心の性の不一致の人の頭文字を取った、性のあり方の少数者の総称）等の性的マイノリティの方を積極的に支援することを市が表明した「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、平成31年4月1日からはパートナーシップ宣誓制度とLGBTQ+電話相談窓口の運用を開始するとともに、同年7月より当事者や支援者が集い交流や情報交換を行う場としてコミュニティスペースを開設している。令和6年11月からはオンライン（チャット）相談を開設し、若年層などの利用促進に努めた。また、毎年度、新任課長及び新入職員を対象にLGBT等の性的マイノリティの方に対する理解促進と職場内や市民に対しての適切な対応を学ぶために研修を実施するとともに、職員にはALLY（アライ=性的マイノリティの支援者）である事を表明できるシールを配布し、名札や窓口等への貼付を促している。

令和4年9月に大阪府内でパートナーシップ宣誓制度を実施している自治体と協定を締結し、転入出を伴う転居時における手続きについて、当事者の負担軽減を図ってきた。令和6年4月より京都府と兵庫県自治体間の転入出についても負担を軽減できるよう広域自治体間連携を開始し、令和6年11月からは連携自治体の範囲を全国に拡大した。

8. ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）の防止啓発及び被害者支援の充実について

子どもたちを暴力の被害者にも加害者にもさせないために、若年層への防止啓発として教育委員会と連携し、市内小学校8校の4年生を対象にした「DV予防教育プログラム」、中学校7校において「デートDV予防教育プログラム」を実施した。また、若年層を対象にしたデートDV防止ハンドブックを希望する市内中学校に、チャットでも相談できるDV相談プラスのQRコードを記載したデートDV啓発カードを市内大学と希望する市内高等学校に配布した。

DV被害者への適切な支援を行うため、大阪府女性相談センター、警察署、消防組合、本市の関係部課等を構成員とする枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議において情報共有を行うとともに、「DV加害者の行動パターンをふまえたDV対応について」をテーマとした支援者研修を実施した。

潜在的なDV被害者の救済にもつながるよう、広報ひらかたやSNS、ステーションヒル枚方内にあるデジタルサイネージにより、ひらかたDV相談室を始めとする相談窓口を周知した。また、女性に対する暴力をなくす運動期間（令和7年

11月12日～25日)には、懸垂幕の設置や平和の鐘カリヨン(ヒラリヨン)のパープルライトアップ、京阪枚方市駅中央改札の駅デジタルサイネージ、講座「これってDV?どこからDV?～DV加害者プログラムの取組を含めて～」や、男女共生フロア・ウィル内活動スペースにて「女性に対する暴力をなくす運動」に関する展示を実施し啓発を行った。

9. いじめ対策事業について

市では、いじめを市全体の問題としてとらえ、市長部局においてもいじめ防止対策に取り組むこととしている。令和5年7月からいじめ相談窓口を人権政策課に開設し、電話、メール、面談、手紙等で相談を受けている。いじめの未然防止を啓発する内容等を記載した「いじめお手紙相談用紙」を市立小中学校の児童・生徒へ学期に1回程度配付するとともに、9月には「いじめ未然防止啓発月間」懸垂幕を設置する等、いじめ問題の未然防止の取組を行った。また、教育委員会との連携等を行う会議を月1回以上開催するなど、いじめ対策の総合的な推進を図った。

【市民活動課】

1. コミュニティ活動の支援について

安全・安心で魅力あるまちづくりを推進し地域住民の連携を促進するため、44校区コミュニティ協議会に対し校区コミュニティ活動補助金を交付した。

2. 自治会館建設等助成事業について

自治会活動の拠点である自治会館の建設や改修等に対する助成について、建替え1件、改修8件、土地賃借1件を対象とした。

3. 市民活動の支援について

さまざまな分野における市民活動の拠点として、平成13年、サプリ村野内にひらかたNP0センターを開設した。その後、平成25年4月に、一時利用室、長期利用室、貸しロッカー等を備えた、サプリ村野NP0センターとしてリニューアルオープンし、NP0や市民団体等の利用に供している。

また、市内でのボランティア活動を通じて、社会に貢献している個人及び団体を対象に、日々の活動の労をねぎらい、今後の活躍に期待するとともに、広く社会一般にボランティア精神の浸透を図ることを目的とするボランティア表彰について17団体、39人を表彰した。

4. NP0活動支援事業について

特定非営利活動を活性化し、その健全な発展を支援するため枚方市NP0活動応援基金を平成20年3月に創設した。この基金は、社会貢献を考える市民や法人等からの寄附金を積み立て、公共サービスの担い手である特定非営利活動法人(NP0法人)へ補助するもので、令和7年度は5団体に補助金を交付した。

5. 特定非営利活動法人の設立の認証等について

特定非営利活動法人の設立認証等の事務が、平成25年1月より大阪府から権限移譲され、法人の設立認証等に関する相談業務と設立認証、設立後の法人に対する事業報告書受理等の事務を開始した。令和7年度は、法人の設立認証2件、定款変更認証3件、事業報告書等の受理87件、解散届出受理1件などの処理を行った。

6. 市民憲章の普及啓発について

市民自らの創意による都市建設の理念と等しく守るべき市民道徳、生活規範を確立すべきだと志を同じくする市民の手により昭和46年に制定された枚方市民憲章について、市ホームページにその内容を掲載するとともに、啓発用ポケットティッシュを配布する等の普及啓発を図った。

7. 協働によるまちづくりの推進について

協働のまちづくりを推進する取組として、ひらかた市民活動支援センターと連携し、若者対象のボランティア体験事業を実施したほか、協働の意識を醸成するための職員研修を実施した。

令和 7 年度事務概要

【秘書課】

(1) 各種負担金執行状況

(単位：円)

名称	負担金執行額	備考（出席状況等）
全国市長会	1,286,000	総会 1 回、理事・評議員合同会議 4 回、社会文教委員会 7 回、市長フォーラム 1 回
近畿市長会	295,000	総会 1 回
大阪府市長会	529,000	定例会 3 回、町村長会合同会議 1 回、理事会 1 回
木曜会	24,000	9 回
その他会議	15,000	教育再生首長会議参加費、北方領土返還運動推進大阪府民会議会費
計	2,149,000	

(2) 交際費執行状況

(単位：件、円)

月	件数	執行額	月	件数	執行額
4 月	3	40,240	10 月	3	12,972
5 月	6	64,818	11 月	5	49,500
6 月	4	32,000	12 月	6	69,000
7 月	2	7,521	1 月	16	206,875
8 月	3	30,000	2 月	3	30,000
9 月	4	37,309	3 月	-	-
			計	55	580,235

【広報プロモーション課】

(1) 市民向け広報の状況

① 「広報ひらかた」の発行

市政の情報をより具体的にわかりやすく伝える広報活動の中心的な役割を果たしている。

発行回数	通常号：月 1 回で年間 12 回
サイズ	通常号：A4 判（カラー刷り）
ページ数	通常号：48 ページ（12 回）

〔注〕有料広告の掲載。

- ・自主財源を確保し、発行経費を軽減するとともに、地域商工業の活性化や市民生活の向上に繋げていくことを目的に、平成 17 年 8 月から「広報ひらかた」に有料広告を掲載している。
- ・令和 7 年度の年間広告料収入は 9,147,600 円。

② 「広報ひらかた」の配布

広報紙の配布は業者委託で行っている。

〔広報ひらかたの発行部数等〕

(単位：部、円)

年間発行部数	年間印刷経費	年間配布委託料
2,299,000	65,245,620	28,655,856

③ 点字・録音広報の発行

視覚に障害のある市民を対象に、「広報ひらかた」を点字・録音版にして送付している。

〔点字・録音広報制作数等〕

(単位：部、人)

区 分	規 格	年間延制作数	送付人数(月平均)
点字広報	B5判(200枚程度)	88	8
録音広報	CD	412	34

※点字広報は録音広報の期間と揃えるため令和7年度のみ11カ月。

④ 市ホームページの運営

インターネットを利用したホームページを設置して市政情報を提供しており、平成18年10月16日から有料広告を掲載している。

年間ユーザー数 3,014,984件 年間バナー広告料収入 714,974円

⑤ デジタルサイネージによる情報放映

広報手段を拡充するため、市内に設置しているデジタルサイネージにて市政情報を放映している。

1. 庁内：6台(本館1階：2台、別館1階：1台、2階：3台)
2. 庁外：10台(市役所本庁：1台、3支所：各1台、ラポールひらかた：2台、KTM河本工業総合体育館：2台、昌栄工務店ひらかた渚体育館：1台、誠信建設工業伊加賀スポーツセンター：1台)

〔令和7年度市政情報モニター〕

(単位：種類、回)

	コ ン テ ン ツ 数	放 映 回 数
1	153	3,825
2	190	10,092

〔注〕広報プロモーション課で把握している範囲で集計

(2) 市民参加の広報活動

機関紙づくり講習会は、市民活動の促進を図ることを目的として校区コミュニティ協議会などを対象に機関紙づくりの基礎を職員が指導していたが、参加団体の減少などから出前講座による実施に一本化した。また、同講習会で使用していたテキストを市ホームページで公開し、対象団体のスキルアップに寄与した。機関紙づくりに関する成果発表の場として毎年開催している機関紙コンクールは、同コンクール表彰式内での講評を機関紙づくりに役立つミニ講座として拡充した。なお、同コンクールへの応募団体の減少が顕著なことから、コンクール形式での開催は令和7年度を最後とする見直しを行った。

〔令和7年度機関紙コンクールの参加団体〕

(単位：団体)

団 体 区 分	団 体 数
コミュニティ・自治会部門	13
PTA・サークル部門	7
計	20

(3) パブリシティ(情報提供)の充実

広報活動の一環として、枚方記者クラブや地域誌等に、行政情報、まちの話題等の資料提供を行っている。令和7年度の提供件数は延べ108件であった。

(4) ふるさと寄附金寄附実績

① 月別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
4月	309	8,771,700
5月	325	6,973,070

	件数	寄附金額
6月	369	11,853,000
7月	398	30,364,000
8月	592	13,560,000
9月	2,295	56,657,000
10月	189	7,708,000
11月	401	10,353,000
12月	1,772	116,563,000
1月	155	4,104,000
2月	150	4,851,000
3月	237	8,022,000
計	7,192	279,779,770

〔注〕個人からの寄附

② ふるさと寄附金推進事業対象基金別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
NPO活動応援基金	51	977,000
東部地域里山保全基金	132	2,684,000
花と緑のまちづくり基金	166	4,345,000
安心安全基金	238	22,535,000
環境基金	175	4,149,000
福祉基金	309	7,543,000
こども夢基金	1,103	30,912,900
子どもに本を届ける基金	401	10,159,000
動物愛護基金	329	15,440,000
文化財保存活用基金	174	3,894,000
地域経済活性化基金	55	1,192,000
ひらかた万博推進基金	34	557,000
枚方宿地区賑わい創出基金	45	1,300,000
財政調整基金	3,784	111,586,800
スポーツ振興基金	85	2,192,000
その他	111	60,313,070
計	7,192	279,779,770

〔注〕個人からの寄附

(5) 企業版ふるさと納税寄附実績

月別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
4月	－	－
5月	1	100,000
6月	2	1,100,000
7月	1	1,000,000
8月	1	100,000
9月	－	－
10月	－	－
11月	－	－
12月	－	－
1月	1	1,000,000
2月	3	18,019,800
3月	5	7,095,600
計	14	28,415,400

〔注〕企業からの寄附（非公表分を除く）

【広聴相談課】

(1) 市民相談業務実施状況

① 種類別件数

(単位：件)

相談種別		件 数
生活相談		6,086
専門相談	法律相談	983
	その他相談	346
計		7,415

〔注〕法律相談は、複数項目の相談あり。

② 受付形態別件数

(単位：件)

受付種別		件 数
生 活 相 談	対面	2,022
	電話	4,064
	オンライン	-
専 門 相 談	対面	1,263
	電話	64
	オンライン	2
計		7,415

③ 内容別件数

(単位：件)

種別	内容	件数
生 活 相 談	相続	1,465
	遺言	132
	登記	338
	成年後見	121
	離婚	468
	家庭問題	439
	近隣問題	402
	不動産	296
	借地・借家	157
	金銭貸借（個人）	184
	金銭貸借（業者）	135
	交通事故	118
	消費生活	216
	損害賠償	134
	刑事・民事暴力	28
	心の健康	76
	労働	135
	その他一般	380
	国関係	18
	府関係	12
	市関係	651
	市の専門相談	27
	その他機関の相談	154
	計	6,086

種別	内容	件数
専 門 相 談	借地関係（借方）	19
	借地関係（貸方）	12
	借家関係（借方）	24
	借家関係（貸方）	16
	不動産問題	111
	金銭貸借	107
	離婚	88
	損害賠償請求	36
	戸籍	2
	家庭問題	28
	遺産相続	335
	扶養料請求	14
	刑事事件	5
	交通事故問題	4
	慰謝料請求	20
	その他	162
	計	983
	交通事故	93
	国の行政	3
	登記	123
	遺言書・内容証明作成	57
	人権	10
	成年後見	51
	民事調停手続き	9
	計	346

合 計	7,415
-----	-------

(2) 「市民講座」実施状況

(単位：人)

実施日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
5 月 28 日	子どもの権利の今を考える ～こども基本法の施行から2年～	弁護士 植田昴星	ラポールひらかた	36
10 月 30 日	知っておきたい 成年後見制度	弁護士 山本達也	ラポールひらかた	40

〔注〕大阪弁護士会と共催。

(3) 行政相談週間行事「行政と暮らしの一日相談所」実施状況

(単位：件)

項 目	担 当 者	件 数	開催日・場所
国 の 行 政 相 談	行 政 相 談 委 員	1	9 月 23 日 ラポールひらかた 大研修室
人 権 相 談	人 権 擁 護 委 員	-	
法 律 相 談	弁 護 士	12	
登 記 相 談	司 法 書 士 土 地 家 屋 調 査 士	4	
遺 言 書 等 作 成 相 談	行 政 書 士	2	
不 動 産 相 談	不 動 産 鑑 定 士 宅 建 士	3	
税 金 相 談	税 理 士	7	
相 続 ・ 成 年 後 見 相 談	司 法 書 士	5	
民 事 調 停 手 続 き 相 談	調 停 委 員	1	
年 金 ・ 社 会 保 険 ・ 労 働 相 談	社 会 保 険 労 務 士	-	
マ ン シ ョ ン ト ラ ブ ル 相 談	マ ン シ ョ ン 管 理 士	1	
そ の 他 相 談		1	
計		37	

(4) 「市民の声事業」実施状況

① 受付形態別件数

(単位：件)

受付種別	件 数	受付種別	件 数	受付種別	件 数
来 庁	1	ファックス	-	郵 送	-
電 話	-	提言はがき	-	Eメール	31
				合 計	32

② 対応等部署別件数

(単位：件)

部署名	件数	部署名	件数	部署名	件数
危機管理対策推進課	2	障害支援課	2	下水道管理課	2
人権政策課	1	保健予防課	2	教育政策課	1
市民活動課	2	公立保育幼稚園課	2	新しい学校推進課	5
市民課	1	ひらかた子ども発達支援センター	1	中央図書館	1
保険年金課	1	保育幼稚園入園課	5	児童生徒課	1
文化生涯学習課	1	環境政策課	2	支援教育課	1
健康福祉政策課	1	土木政策課	1	放課後子ども課	3
健康づくり課	1	道路河川管理課	1	教育研修課	2
障害企画課	1	公園みどり課	3	合計	46

〔注〕・1案件につき複数の部署での対応あり。

- ・対応等を依頼した部署のみ記載。
- ・令和7年度の部署名を記載。

③ 災害等通報システム

(単位：件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
50	71	66	40	43	30	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
40	28	11	12	20	22	433

(5) インターネットアンケート実施状況

(単位：件)

	項目	部署名	実施期間	意見数
1	「第 4 次枚方市男女共同参画計画（案）」について	人権政策課	12 月 1 日～12 月 22 日	5
2	「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画（第 2 版）」について	健康福祉政策課	12 月 5 日～12 月 24 日	2
3	「令和 8 年度枚方市食品衛生監視指導計画（案）」について	保健衛生課	2 月 5 日～2 月 27 日	-

〔注〕令和 7 年度の部署名を記載。

(6) パブリックコメント制度による意見募集実施状況

(単位：件)

	項目	部署名	実施期間	意見数
1	「個人住民税業務に係る特定個人情報保護評価書（見直し案）」	市民税課	10 月 1 日～10 月 31 日	1
2	「第 2 次一般廃棄物処理基本計画」	循環型社会推進課	12 月 5 日～12 月 24 日	6
3	「今後の枚方市の支援教育の在り方について（案）」	支援教育課	12 月 5 日～12 月 24 日	60
4	「枚方市工場立地法地域準則条例（骨子）」	商工振興課	12 月 5 日～12 月 24 日	10
5	「枚方市児童相談所設置基本計画（案）」	まるっとこどもセンター	12 月 12 日～1 月 8 日	36

〔注〕令和 7 年度の部署名を記載。

(7) 市政モニター実施状況

(単位：人)

実施期間	項目	部署名	回答者数	登録者数
第 1 回 7 月 22 日～ 8 月 6 日	家庭系ごみに関するアンケート	循環型社会推進課	426	513
	市民の公共施設に対する意識に関するアンケート	行革推進課	380	513
	持ち込みごみ等に関するアンケート	穂谷川資源循環センター	371	513
第 2 回 11 月 4 日～ 11 月 26 日	やすらぎの杜に関するアンケート	環境政策課	426	512
	枚方市の地域福祉に関するアンケート	健康福祉政策課	404	512
	枚方市のまちの姿に関するアンケート	都市計画課	397	512
	枚方市の文化芸術に関するアンケート	文化生涯学習課	398	512

〔注〕令和 7 年度の部署名を記載。

(8) スマホアンケート実施状況

(単位：件)

実施月	項目	部署名	意見数
4 月	キャッシュレス決済について 老人福祉について	DX 推進課 健康福祉政策課	2,021
5 月	フレイル・人生会議について	健康づくり課	2,160
6 月	地域福祉計画について	健康福祉政策課	1,787
7 月	食中毒について	保健衛生課	1,317
8 月	検診（健診）等の受診や歯と口の健康について 観光について	健康づくり課 観光交流課	1,876
9 月	健康づくりについて 防災について	健康づくり課 危機管理対策推進課	1,455
10 月	ひらかた万博について	政策推進課	1,460
11 月	市議会の情報発信について	議事調査課	1,477
12 月	子どもを守る条例について 飼い主のいない猫について	子ども青少年政策課 保健衛生課	1,432
1 月	自転車の利用について 観光について	交通対策課 観光交流課	1,842
2 月	キャッシュレス還元について 市民憲章について	商工振興課 市民活動課	1,578
3 月	感染症対策について 広報プロモーションについて	保健予防課 広報プロモーション課	1,669

〔注〕令和 7 年度の部署名を記載。

(9) コールセンター運用状況

(単位：件、%)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
外線着信数	13,647	14,944	20,345	16,621	13,252	14,130
応 答 件 数	13,495	14,847	19,763	16,371	13,117	13,935
応答率	98.9	99.4	97.1	98.5	99.0	98.6
ワンストップ回答率	42.2	44.9	50.4	43.0	42.5	42.3
IVR 着信件数	2,761	2,467	2,531	2,921	2,503	2,290

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
15,680	13,139	13,628	13,062	12,329	13,130	173,907
15,288	12,926	13,456	12,878	12,125	12,955	171,156
97.5	98.4	98.7	98.6	98.3	98.7	98.4
44.6	42.9	45.7	41.0	40.4	43.6	43.6
3,160	2,768	2,752	2,143	1,693	2,182	30,171

【人権政策課】

(1) 人権施策推進事業

① 講座「生きること」

(単位：人)

開催日	テーマ	講師	参加人数
9月25日	在日コリアンの歴史から「多文化共生社会」を考える	特定非営利活動法人 コリア NGO センター 代表理事 郭辰雄	49
10月8日	ヒマラヤへの想いは果てしなく ～私が病を抱えて山に登る理由(わけ)～	美容師・冒険家・ネパール探究家 稲葉 香	83
10月15日	ダウン症の娘と歩んだ23年。そして今考えること	大阪芸術大学放送学科 教授 元NHKアナウンサー 住田 功一	87
10月21日	被爆80年 核兵器廃絶へ私の決意	大阪被団協 枚方市原爆被害者の会 会長 森 容香	45

〔注〕・会場：ラポールひらかた大研修室

- ・枚方市（人権政策課・文化生涯学習課）、教育委員会（教育政策課）、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の共催。
- ・啓発記録冊子「生きること」の発行 1,000部

② 人権文化セミナー

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
11月10日	「スマイルカット ～みんな笑顔のヘアカット～」 講演者：赤松 隆滋 (美容師・理容師・NPO 法人 そらいろプロジェクト京都 理事長)	総合文化芸術センター 別館 メセナホール	57

〔注〕特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と共催。

③ 人権週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
12月4日	「命の参観日」 ～ありがとう・ごめんなさい・大好き～ 講演者：玉城 ちはる (シンガーソングライター・安田女子大学非常勤講師)	総合文化芸術センター 本館 小ホール	128
12月5日	人権悩みごと相談（人権擁護委員による相談）	庁内相談室	1

〔注〕講演会については、枚方市（人権政策課）、教育委員会、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会の共催。

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
12月4日	拉致問題を考えるパネル展・DVD「めぐみ」上映	総合文化芸術センター 本館 ホワイエ	128
12月10日	平和の鐘カリヨン（ヒマリヨン）のブルーリボン ライトアップ	岡東中央公園 平和の鐘カリヨン（ヒマリヨン）	…

〔注〕「拉致問題を考えるパネル展」は人権週間事業の講演会（12月4日）と同時開催。

⑤ 人権相談事業

「人権なんでも相談」（人権ケースワーク事業）を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託
相談件数 288 件（令和 7 年度より開設日を週 5 日から週 3 日に見直し）

⑥ その他人権・同和問題事業

- ・人権、同和関係行政機関、諸団体と各種啓発活動等に参加
- ・枚方市人権擁護推進本部事務局
- ・北河内人権啓発推進協議会事務局
- ・世界人権宣言寝屋川・枚方・交野連絡会事務局
- ・枚方地区人権擁護委員会事務局
- ・枚方事業所人権推進連絡会事務局

⑦ 広報ひらかたによる啓発

- ・人権に係る相談窓口等の案内 4 回（広報ひらかた 4・6・12・3 月号）
- ・枚方市人権尊重のまちづくり基本計画の周知のためのコラム掲載 1 回（6 月号）

⑧ 街頭啓発活動

(単位：人)

開催日	内 容	場 所	参 加 団 体	参加人数
6 月 10 日	就職差別撤廃月間街頭啓発	枚方市駅	枚方事業所人権推進連絡会、枚方公共職業安定所、枚方市、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会	13
12 月 5 日	人権週間事業街頭啓発	枚方市駅 樟葉駅 長尾駅	枚方市、教育委員会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会	41

⑨ 人権・同和・平和視聴覚教材（DVD）貸出状況

教材数	貸出件数	利用者数
1 本	1 件	11 人

(2) 非核平和都市宣言推進事業

① 妙見山煙突見学会

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
4 月 5 日	戦争遺跡 妙見山煙突見学会	妙見山配水池内 (旧陸軍造兵廠香里製造所施設)	376
11 月 8 日			124

〔注〕五常校区コミュニティ協議会と共催。

② 憲法のつどい

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
5 月 24 日	・枚方第二小学校の児童による日本国憲法前文の朗読（動画上映） ・講演「笑いは世界の共通語」 講師：笑福亭 鶴笑（落語家）	総合文化芸術センター 別館 メセナホール	168

③ 終戦 80 年平和事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
7 月 18 日	「池上彰さんと小中学生が平和を紡ぐ」 ・講演「いま世界で起こっていること」 講師：池上 彰（ジャーナリスト） ・池上さんと枚方の小中学生との意見交換会	総合文化芸術センター 本館 大ホール	793
8 月 1 日～ 8 月 20 日	ミニパネル展「核兵器と戦争に関する 16 の問い展」	市役所別館 1 階 受付前	...
8 月 2 日～ 8 月 14 日	平和資料室特別展 「どうぶつのいのちとへいわ」パネル展	中央図書館 平和資料室	707
8 月 6 日	平和ライブラリーコンサート 打楽器奏者 3 人組による平和をテーマにしたコンサート 出演：マリンバ・パーカッショントリオ “pecora” (枚方市アーティストバンク登録アーティスト)	中央図書館 エントランスホール	120
8 月 15 日	映画上映会「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」	総合文化芸術センター 本館 小ホール	145
令和 7 年 2 月 26 日～ 12 月 31 日	平和メッセージの募集 協力：市 PR 大使（メッセージの発信と呼びかけ）		699

④ 市内の戦争遺跡ツアー

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
11 月 8 日	市内の戦争遺跡バスツアー	市内の戦争遺跡	16

⑤ 3. 1「枚方市平和の日」記念事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
2 月 14 日～ 2 月 28 日	禁野火薬庫大爆発パネル展	生涯学習交流センター 展示スペース	...
2 月 17 日	「ひらかた平和フォーラム」 ・平和学習の紹介（合唱・動画上映・会場内で掲示） 蹉跎小学校、藤阪小学校、東香里中学校 ・講演会「“島唄”に込めた想い～悲惨な沖縄戦を伝えたくて～」 講師：宮沢和史（シンガーソングライター）	総合文化芸術センター 本館 小ホール	298
2 月 27 日	「枚方市平和の燈火（あかり）」プレ事業 絵本の読み聞かせ、手形アートの作成	殿山第一留守家庭児童会室	35
3 月 1 日	「枚方市平和の燈火（あかり）」 ・約 3,000 個のキャンドルを点灯 【実行委員による取組】 ・平和に関するパネル展示、メッセージツリーやペット ボトルキャップアートの作成、ペットボトルキャップ の回収 ・プレ事業で制作した手形アートを展示 ・立体造形物を展示 ・弾き語り演奏や絵本の朗読を実施 ・VR ゴーグルによる原爆被害などの疑似体験を実施	岡東中央公園	約 1,100

⑥ その他

- ・平和啓発冊子「平和のために私たちができること」を事業開催時等に配布した。また、冊子の内容をデジタル化し、市内小学生が所持するタブレットにおいて閲覧できるデジタル副読本「わたしたちのまち枚方」内で公開している。冊子配布数 1,128 冊
- ・各非核平和関連事業の会場に「折り鶴コーナー」を設置し、来場者等に平和への願いを込めて鶴を折ってもらった。集まった折り鶴は、千羽鶴にして長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典（8 月 9 日）へ届けた。

(3) 男女共同参画推進事業

① 男女共生フロア・ウィル事業

(a) 啓発冊子の発行

(単位：部)

冊子名	発行部数
男女共同参画を目指す情報誌 「モアメイム」 27 号	2,000

(b) 男女共同参画週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
6 月 3 日	男女共同参画週間事業 「落語とジェンダー」～落語上演と落語にまつわるジェンダーをテーマにしたトークショー～	桂 二葉（落語家） アルティシア（作家）	248	-

(c) 女性に対する暴力をなくす運動期間事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
11 月 18 日	これって DV?どこから DV?～DV 加害者プログラムの取組を含めて～	伊田広行（立命館大学大学院 非常勤講師）	18	-

〔注〕その他

- ・平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップを実施（11 月 14 日・11 月 21 日）
- ・京阪枚方市駅中央改札の駅デジタルサイネージで周知（11 月 17 日～11 月 23 日）
- ・男女共生フロア・ウィルで展示を実施（11 月 12 日～11 月 25 日）

(d) 男女共同参画啓発事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
6 月 4 日	女性のための基礎から学ぶ起業セミナー① 起業の心構えと実例	川崎ますみ（中小企業診断士）	12	-
6 月 5 日	女性のための基礎から学ぶ起業セミナー② 起業に必要なお金の話	高松留美（中小企業診断士）	13	-
8 月 7 日	ウィル de クラフト① ペーパークラフト講座（一般向け）	図書館フレンズ、エッセイサークル ル文文	9	-
8 月 7 日	ウィル de クラフト② ペーパークラフト講座（親子向け）	図書館フレンズ、エッセイサークル ル文文	17	-
8 月 22 日	親子で学ぼう！こころとからだを守る性教育 ～同意の大切さと SNS トラブル予防～	田中まゆ（助産師・思春期保健相談士）	32	3
9 月 24 日	女性のための心理学レッスン	小松明子（ウィメンズカウンセリング京都フェミニストカウンセラー）	29	-

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
10月4日	サイエンスイベント「光る！はねる！生き物みたいな物体を作ろう！」	大阪公立大学の理系女子大学院生チーム IRIS	26	1
10月16日	ウィル de シネマ「ビリーブ 未来への大逆転」		199	-
10月17日	ウィル de シネマ「ミツバチと私」		147	-
11月15日	ワーク・ライフ・バランスセミナー～あなたの人生時間がもっと上手に使えるようになる講座～	槇本千里（ワーク・ライフ・バランスコンサルタント）	19	3
11月22日	学んで、語って、パパのためのこころ育て講座	濱田智崇（京都橘大学総合心理学部准教授）	9	2
1月24日	～自分らしく生きていい！知ると気持ちが楽になる～母娘関係講座	井ノ崎敦子（徳島大学キャンパスライフ健康支援センター総合相談部門副部門長/臨床心理士/公認心理師/博士）	9	-
1月31日	ウィル・ミニフェスタ 【講座】 「こころとからだのフィットネス」 【体験】 工作（ペーパーフラワー、小物入れ）、折紙、読み聞かせ、五行歌づくり、妊婦体験、赤ちゃん人形抱っこ体験 【展示】 1月26日（月）～2月6日（金）※2月1日（日）除く	【講座】 大森 暁（任意団体 Ninaru 主宰） 【体験】 図書館フレンズ、新日本婦人の会枚方支部、五行歌ひらかた歌会、五常小保健人権部会 【展示】 エッセイサークル文文、五行歌ひらかた歌会、五常小保健人権部会、「こどもと本」香里ヶ丘市民学級、新日本婦人の会枚方支部、墨雅の会	182	-
2月12日	再就職・転職応援講座①午前の部	ハローワーク枚方マザーズコーナー相談員	8	3
2月12日	再就職・転職応援講座②午後の部	ハローワーク枚方マザーズコーナー相談員	2	-
2月20日	男女（みんな）で考えよう防災の話	斉藤容子（人と防災未来センターリサーチフェロー、関西国際大学客員教授）	23	1
3月7日	ひらかたジェンダーしゃべり場	アルティシア（作家）	13	-
3月12日	女性たちはどう生きたか～「源氏物語」「枕草子」「更科日記」から考える～	大津直子（同志社女子大学表象文化学部准教授）	31	-

(e) DV 防止啓発事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
5月24日	DV 被害から回復するための教育プログラム わがままステーション	井ノ崎 敦子（徳島大学）	4	1
7月19日			3	1
9月20日			3	1
11月29日			4	1
1月17日			3	1
1月24日			3	1
3月21日			5	1

(f) DV 予防教育プログラム

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
5月30日, 6月9日 6月3日 6月17, 18日 7月14日 9月2日 10月31日 1月15日 1月26, 27日	わたしもぼくも☆みんな生き生き <対象>小学生 <実施校> 枚方第二小学校 (3クラス) 川越小学校 (1クラス) 平野小学校 (3クラス) 西長尾小学校 (2クラス) 山田小学校 (1クラス) さだ小学校 (2クラス) 招提小学校 (2クラス) 津田小学校 (3クラス)	特定非営利活動法人 SEAN	484
6月13日 6月25, 27日 7月7日 9月30日 11月25日 11月26日 2月17日	対等な関係って?～デート DV について考えよう～ <対象>中学生 <実施校> 楠葉西中学校 (3クラス) 第一中学校 (5クラス) 中宮中学校 (4クラス) 渚西中学校 (3クラス) 第三中学校 (3クラス) 長尾西中学校 (4クラス) 招提北中学校 (2クラス)	特定非営利活動法人 SEAN	879

〔注〕教育委員会支援教育課との共催。

(g) 相談事業・情報提供（延件数）

(単位：件)

電話相談	面接相談	法律相談	男性相談(電話)
414	365	96	16

〔注〕特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託。男性相談は開設日見直し。

(h) 図書・情報コーナー

新規利用登録者	貸 出	
	図書・雑誌	AV 資料
48 人	336 冊	4 点

(i) 男女共同参画活動ルーム

登録団体	使用延件数	使用延人数
8 団体	17 件	125 人

② 枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかた DV 相談室」事業

DV（配偶者等からの暴力）相談等

(単位：件)

相談（延件数）		一時保護支援	保護命令申立支援	各種証明書発行
電話	面接			
1,294	322	5	1	167
1,616				

③ 性的マイノリティ支援事業

(a) パートナーシップ宣誓 6組

(b) LGBTQ+ 電話相談 13件

(c) LGBTQ+ チャット相談(11月～3月) 16件

(d) コミュニティスペース

(単位：人)

開催日	内 容	ファシリテーター	参加延人数
毎月第3火曜日	ひらかた・にじいろスペース	特定非営利活動法人 QWRC	30

④ 男女共同参画推進本部研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
10月29日	自治体で取り組むジェンダー平等社会づくり	三成 美保(追手門学院大学 法学部 法律学科教授)	64

〔注〕対象者は男女共同参画推進本部員、男女共同参画推進本部幹事、希望する市議会議員。集合研修を行った。

開催日	内 容	講 師	参加人数
2月2日～ 3月23日	自治体で取り組むジェンダー平等社会づくり	三成 美保(追手門学院大学 法学部 法律学科教授)	110

〔注〕対象者は男女共同参画推進担当者、希望する職員。研修ストーリーミングシステムを使用した録画動画の配信を行った。

⑤ DV関係機関連絡会議実務者研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
10月22日	DV加害者の行動パターンをふまえたDV対応について	増井 香名子(日本福祉大学 准教授)	32

⑥ 教職員研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
	教職員研修「わたしもぼくも☆みんな生き 生き」～互いの「こころ」と「からだ」を 大切にするために		
	<実施校>		
6月3日	川越小学校 16人	特定非営利活動法人 SEAN	169
6月9日	枚方第二小学校 28人		
6月17日	平野小学校 30人		
7月14日	西長尾小学校 20人		
9月2日	山田小学校 16人		
10月31日	さだ小学校 21人		
1月15日	招提小学校 18人		
1月27日	津田小学校 20人		

〔注〕教育委員会支援教育課との共催。

⑦ 附属機関等における女性の比率

(単位：件、人、%)

	令和 7 年 3 月末					令和 8 年 3 月末				
	設 置 数	総委員数	女	男	女性比率	設 置 数	総委員数	女	男	女性比率
附属機関等	115(6)	1,124	422	702	37.5	115(6)	1,022	390	632	38.2
専門委員	7(1)	16	5	11	31.3	7(1)	11	4	7	36.4
行政委員会	6(1)	36	6	30	16.7	6(1)	36	6	30	16.7
全 体	128(8)	1,176	433	743	36.8	128(8)	1,069	400	669	37.4

〔注〕設置数欄の（ ）内の数字は女性委員のいない審議会等の数を表す。

(4) いじめ相談窓口

① 相談者延件数

(単位：件)

相談窓口		電話	面談	メール	手紙	計
件数		48	20	7	74	149
相談者	児童生徒	10	17	1	72	100
	保護者等	38	3	6	2	49

② 相談対象者別件数

(単位：件)

相談対象者別件数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
	-	105	43	1	-	149

【市民活動課】

(1) 校区コミュニティ活動補助金交付事業

(単位：校区、円)

交付数	交付総額
44	52,851,000

(2) 地域づくりデザイン事業

令和 7 年度は実績なし

(3) 自治会掲示板交付事業

(単位：枚)

交 付 先	交付枚数
小倉町自治会、八香会、津田区(2枚)、茄子作西第3自治会、星丘北自治会、出口自治会(2枚)、長尾家具町2丁目自治会、須山町会、堤町自治会、牧野共栄清香自治会、松丘町自治会、牧野阪自治会、北中振西自治会、中宮山戸町自治会、岡東自治町内会、甲斐田町内会、六香会、上野一丁目自治会、みどりヶ丘自治会、三栗渚園自治会、牧野本町東自治会	23

(4) 自治会館建設等助成事業状況

(単位：円)

助成区分	助成先	助成額	自治会館所在地
建替え	興人小倉台自治会	7,500,000	小倉東町 295-35
	計 1 件	7,500,000	
改修	三栗渚園自治会	312,000	三栗 1-12-1
	春日丘自治会館管理運営委員会（春日丘自治会/ 京阪ひろ野自治会）	3,000,000	茄子作 4-51-25
	けやき中央自治会	1,039,000	香里ヶ丘 3-8-25
	茄子作自治会	1,033,000	茄子作 4-5-17
	出口自治会	900,000	出口 5-13-14
	新町区自治会	815,000	新町 1-4-14
	丘 2 住民協議会	1,202,000	楠葉丘 2-1-1
	北楠葉自治会	3,000,000	北楠葉町 36-26
	計 8 件	11,301,000	
土地賃借	西牧野 1 丁目自治会	240,000	西牧野 1-20-22
	計 1 件	240,000	
合 計 10 件		19,041,000	

(5) 市民公益活動補償保険事業

市が保険契約を行い、5 人以上の市民団体の公益的な活動中の事故について補償することにより、市民活動の振興と福祉の向上を図ることを目的とする。

〔市民公益活動補償保険報告状況〕

(単位：団体、件)

登録団体数	事故報告件数	内 訳	
		傷害保険	賠償責任保険
708	18	17	1

(6) ボランティア表彰事業

ボランティア活動を行っている団体や個人の労をねぎらい、今後の活躍を期待し促進するために市長表彰を行う。

(単位：団体、人)

被表彰者（団体）	被表彰者（個人）
17	39

(7) サプリ村野 NPO センター 各施設利用状況

① 一時利用室

(単位：件、%)

室 名	件 数	利用率
101	961	69.2
102	793	57.1
103	781	56.3
104	653	47.0
201	488	35.2
202	493	35.5
203	585	42.1
合 計	4,754	48.9

② 長期利用室

(単位：月)

室 名	利用月数
301	12
302	10
303	11
304	12
305	9
306	12
307	11

資 料 編

【広報プロモーション課】

(1) 広報ひらかた発行状況

＜冊子版＞

(単位：部、ページ)

種別 号	広報ひらかた		種別 号	広報ひらかた	
	部 数	ページ数		部 数	ページ数
5 月	191,350	48	12 月	191,550	48
6 月	191,350	48	1 月	191,750	48
7 月	191,550	48	2 月	191,750	48
8 月	191,550	48	3 月	191,750	48
9 月	191,550	48	4 月	191,750	48
10 月	191,550	48	臨時号	-	-
11 月	191,550	48	計	2,299,000	576

(参考)「ひらかた健康便利帳」が年 1 回、「社協だより」が年 4 回、「枚方市議会報」が年 6 回同時配布される。

＜録音版・点字版＞

(単位：部)

号	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	臨時号	計
録音版	35	36	36	36	36	35	34	34	34	34	32	30	-	412
点字版	-	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	-	88

〔注〕令和 7 年度広報ひらかた点字版は録音版の期間と揃えるために 5 月号～3 月号の 11 カ月で契約。

(2) ひらかたプロデューサーズ登録者数

令和 7 年度末までの累計登録者数は 227 人。

【広聴相談課】

(1) 市民相談件数

(単位：件、%)

区 分	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	件 数	増減率	件 数	増減率	件 数	増減率
生 活 相 談	6,147	7.6	6,157	0.2	6,086	▲1.2
専 門 相 談	1,608	▲3.9	1,624	1.0	1,329	▲18.2
計	7,755	5.0	7,781	0.3	7,415	▲4.7

(2) 「無料相談会」実施状況

(単位：件)

実施日	タイトル	主 催	会 場	件 数
8 月 2 日	司法書士による相談会 「相続・遺言」	大阪司法書士会	総合文化芸術センター 別館	32
10 月 1 日	全国一斉不動産無料相談会	公益社団法人全日本不動産 協会	枚方 T-SITE 1 階屋外スペース	21
11 月 22 日	司法書士による説明会 & 相談会 「成年後見・相続・遺言」	成年後見センター・ リーガルサポート大阪支部	ラポールひらかた	23
3 月 1 日	司法書士による相談会 「相続・遺言」	大阪司法書士会	菅原生涯学習市民セン ター	33
3 月 7 日	大阪府内一斉無料法律相談会	大阪弁護士会	枚方市役所別館 5 階 広聴相談課内	11

〔注〕市との共催による開催。